

2021 年度

総合東京病院臨床研修プログラム

1. 当院の研修プログラムの特徴
2. カリキュラム
3. 到達目標
4. 研修プログラム責任者と研修指導体制
(指導医、研修協力施設等)

総合東京病院 臨床研修委員会 作成

1. 当院の臨床研修プログラムの特徴

○総合医の育成

当院の臨床研修が目指すのは総合医の育成です。内科を中心として病める人の全人的把握とマネージメントが2年間でできるようになることを目標とします。専門医を目指す研修医にとっても、医師として欠かすことのできない基本的な診療能力を2年間で身に付けていただきます。

○内科系研修、外科系研修、地域医療研修

大きく内科系、外科系に分けて研修します（カリキュラム参照）。内科系では全科に通用する問診、身体所見のとり方から診断、病態把握に習熟し、適切な判断を下せる力を身に付けます。必要に応じて消化器、循環器、呼吸器のより専門的な検査や治療に参加します。外科系では基本的な外科的手技全般を習得します。2年間で救急医療を含めたプライマリーケア全般をこなせることを目指します。地域医療の研修では、当院独自の病診連携システムにより診療所や他の地域病院との診療協力体制を経験し、また併設の療養型施設、訪問看護ステーションでの研修を通じて地域医療の在り方を考えて頂きます。

○専任指導医

内科系、外科系それぞれの研修期間中、専任の指導医がマンツーマンで指導にあたります。受持ち患者さんの病態に応じて指導医以外の専門医の指導も受けます。研修評価委員会では研修内容を随時評価し、必要に応じて研修内容を適宜、調整します。当然、カリキュラム内容や順序に変更がなされることもあります。

○On-demand teaching

研修期間中、指導医が受け持ち患者に必要と判断した院内各科へのコンサルテーションを通じて適宜研修を依頼します。例えば、糖尿病の患者さんの網膜症を通じて眼底検査を眼科で一定時間かけて習得したり、めまいに関して耳鼻科的診察法を学んだりすることも可能です。心臓や腹部の超音波検査の基本を一定期間かけて学んでいただくことも可能です。以上のように、当院は各科の間の壁がないため、大学病院や大病院では受けにくい“小回りのきく研修”が可能です。

○教育研修施設認定

日本内科学会認定、日本循環器学会、日本消化器内視鏡学会

○後期研修

【受付】 9月末日までに後期研修希望者の選考を行いますのでお申し込み下さい。

【期間】 3年間

（但し、1年ごとに評価を行い、次年度への継続の可否を審査致します。）

【条件】 2年間の初期研修終了見込みで、将来、内科の総合医を目指して内科認定医

・専門医の資格をあるいはサブスペシャリティの資格を取得する意志のある方

【プログラム】 2年間の実績・技量を踏まえて指導医と研修医が話し合い、個々の希望

・状況に最も適当なプログラムを提供します。

【取得可能資格】 当院での後期研修終了後には内科学会認定医、循環器学会認定・消化器病学会認定医の資格取得が可能です。期間中は希望により短期間の国内留学も可能です。この場合、研修施設は希望する研修内容に応じてもっとも適切と考えられる施設を紹介します。

【待遇】 経験3年目の常勤医師待遇です。

3. 到達目標

当院での臨床研修の内容および到達目標を以下に、

- ①医療人として必要な基本姿勢・態度の習得
- ②経験すべき診察法・検査・手技
- ③経験すべき症状・病態・疾患
- ④経験すべき特定の医療現場

として掲げた。

①は全科に共通の目標である。

②③④の項において臨床研修の具体的な到達目標とそれを習得する科を示す。

尚、研修終了時には各々の細目ごと担当者の評価、および研修者の自己評価として以下のように行う。

○自己および指導医評価表のチェック

- A 目標に達した
- B ほぼ目標に達した
- C 更に努力を要す
- N 経験しなかった

4. 研修プログラム責任者と研修指導体制

(研修プログラム責任者、指導医、研修協力施設と研修実施責任者等)

研修指導者		
	研修プログラム責任者	伊澤仁志 麻酔科 部長
	救急研修責任者	沼澤真一 センター長
	外科系指導責任者	渡辺昌彦 副院長
	内科系指導責任者	中野雅嗣 部長・菅原崇 科長
	専任指導医	
	産婦人科指導責任者	永井崇
研修協力施設（分野：研修実施責任者）		
	診療所	(宮地内科医院：宮地三千代) (天正堂クリニック：村杉寛子) (三五医院：三五美和) (哲学堂石井内科クリニック：石井無太郎) (たかねファミリークリニック：高根紘希) (あけのほし内科クリニック：丸山祥司) (鳥海ペインクリニック：鳥海和弘) (東中野クリニック：飯国紀一郎) (美穂診療所：由良明彦) (上高田ちば整形外科・小児科：千葉直樹)
	晴和病院	(精神科：小田英男)
	中野共立病院	(地域医療：山本英司)
	国立国際研究センター病院	(救急科：小林憲太郎) (精神科：今井公文)
	聖母病院	(産婦人科：増澤利秀)
	佼成病院	(産婦人科：大和竜夫)
	新百合ヶ丘病院	(産婦人科：浅田弘法)
		(救急科：伊藤敏孝)
	介護保険施設	江古田の森（センター長：渡邊貞義）
	(ケアハウス・特養・老健)	
	東京都立松沢病院	(精神科：梅津寛)

6. 研修医の処遇等

待遇	常勤研修医
研修手当	基本手当／月：¥300,000－ 賞与／年：¥600,000－ 時間外手当：有 休日手当：有 当直手当：有（但し、3ヵ月間は見習い）
勤務時間	8：30～17：00（時間外勤務有）休憩 45 分
当直	約月 4 回
病院内の個室	無（医局内に個人デスク有）
休暇	有休休暇：1 年次 10 日、2 年次 11 日 リフレッシュ休暇：4 日 年末年始：有
宿舎	有（宿舎不使用の場合は住宅手当支給）
各種保険	公的保険 政府管掌保険 公的年金保険 厚生年金 労働者災害補償保険 有 雇用保険 有
健康管理	健康診断 年 1 回
医師賠償責任保険	病院において加入
学会・研修会への参加	可（費用支給は規定による）
アルバイトに関する事項	アルバイト禁止